

平成26年度当初予算の主な事業(特別会計)

(単位:千円)

No	会計名	事業名	所属名	前年 当初額	要求額	部長 査定額	左記の財源内訳				事業の概要
							国・県	地方債	その他	一般財源	
1	介護保険費	介護サービス等諸費	高齢社会課	15,427,031	16,440,140	16,440,140	6,495,500	99,111	7,790,511	2,055,018	介護保険サービスを利用した要介護度1～5の被保険者に対し、約9割を保険給付として支給。
2	介護保険費	介護予防サービス等諸費	高齢社会課	878,487	951,727	951,727	376,027	5,738	450,996	118,966	介護保険サービスを利用した要支援1と要支援2に認定された者に対して介護予防給付を支給。
3	介護保険費	二次予防事業対象者把握事業費	高齢社会課	38,241	20,591	20,591	7,720	0	10,295	2,576	65歳以上の介護保険1号被保険者(要介護認定者は除く)に対して、健康状態等を確認するためのチェックリストを全員配布。回答者のうち要介護状態となる恐れが高い者に対して、おたつしゃ教室への参加勧奨を行い、介護予防につなげる。
4	介護保険費	おたつしゃ教室事業費	高齢社会課	30,043	45,197	36,361	13,635	0	18,179	4,547	介護予防の観点から要介護状態になる恐れが高い高齢者に対し、転倒予防トレーニング、失禁予防トレーニング、筋力向上トレーニングなどを実施し、要介護状態に陥ることなく自立した生活を送れるよう支援。 【査定の考え方】 事業の内容、実施方法等の精査によるもの。

平成26年度当初予算の主な事業(特別会計)

(単位:千円)

No	会計名	事業名	所属名	前年 当初額	要求額	部長 査定額	左記の財源内訳				事業の概要
							国・県	地方債	その他	一般財源	
5	介護保険費	高齢者認知機能低下予防事業費	高齢社会課	0	7,118	0	0	0	0	0	基本チェックリストにより認知機能の低下がみられる高齢者を対象に、医療機関での2次スクリーニング及び指導、介護予防教室への勧奨を行う。 【査定の考え方】 新規事業については次期介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定の中で十分な検討・協議を行うこと。
6	介護保険費	介護支援ボランティア事業費	高齢社会課	1,149	1,176	931	348	0	464	119	高齢者が介護保険施設等でボランティア活動を行い、活動実績に応じて活動ポイントを交付金として支給する。 【査定の考え方】 25年度のボランティア登録見込数をもとに事業費を精査。
7	介護保険費	配食サービス事業費(一般高齢者分)	高齢社会課	20,280	20,046	16,146	4,852	0	9,675	1,619	調理が困難な在宅高齢者に対し、栄養バランスのとれた食事の提供や安否確認を行い、健康で自立した生活を送れるよう支援。(「ご飯、おかず、味噌汁」または「おかず、味噌汁」のセットを配食) 【査定の考え方】 過去実績をもとに事業費を精査。

平成26年度当初予算の主な事業(特別会計)

(単位:千円)

No	会計名	事業名	所属名	前年 当初額	要求額	部長 査定額	左記の財源内訳				事業の概要
							国・県	地方債	その他	一般財源	
8	介護保険費	高齢者バス運賃優待 助成事業費	高齢社会課	11,259	10,878	10,362	6,138	0	2,176	2,048	高齢者のバス利用に対して助成 を行い、バス利用を通じて閉じこ もり予防と社会参加を促進し、 介護予防につなげる。 (利用対象) ・65歳以上の高齢者、免許返納 者 ・鳥取市老人クラブが行事等で バスを利用するとき (優待内容) ○パスカード購入時に額面金額 の3割引きで販売(割引した3割 分を市からバス事業者に助成)
9	介護保険費	安心ホットライン事業 費	高齢社会課	14,138	12,675	12,675	6,327	0	4,237	2,111	ひとり暮らしの高齢者に対し、急 病等による通報に随時(24時 間・365日)に対応することによ り、緊急事態の不安軽減を図 る。